



でんき講座

6月
VOL.48

水・湿気に注意しよう！

水・湿気は感電や漏電、電気製品の故障を引き起こす危険があります。電気製品を使うときは周りに「水」がないか確認しましょう。

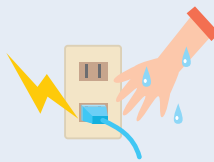


ほあんくん

水・湿気による「電気事故」を防ぐには？

濡れた手で触らない

水は電気を通しやすいので、濡れた手でスイッチやプラグに触るのは危険です。よく手を拭いてから触るようにしましょう。



そばに水を置かない

水がこぼれて電気製品の内部に侵入すると故障や感電の原因に。電気製品の近くに花瓶、水槽などを置かないようにしましょう。



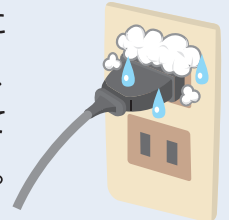
雨水を侵入させない

屋外に設置した外灯や門灯が破損して雨水が侵入すると、漏電や感電の原因に。外灯や門灯を確認し、破損している場合は修繕しましょう。



ほこりをためない

プラグとコンセントの間にほこりや湿気がたまると、トラッキング現象が起きて発火する恐れがあります。定期的に掃除しましょう。




濡れたモバイルバッテリーから火災発生

誤ってシーツと一緒に洗濯したモバイルバッテリーに水が侵入。基板がショートして異常発熱し、モバイルバッテリーを焼損する火災となりました。電気製品に水がかかったり、水没させたりした場合は、使用時に異常が起こるおそれがあるため、取扱説明書を確認したり、事業者に連絡するなどして再度使用して問題がないか確認してください。



参考：独立行政法人 製品評価技術基盤機構「濡れて起きる製品事故」



- 当協会を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は  のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

<https://www.kyushu-qdh.jp>

九州電気保安協会

検索 



一般財団法人九州電気保安協会

水による「漏電」から守るには？



みまもちゃん

漏電ってなに？

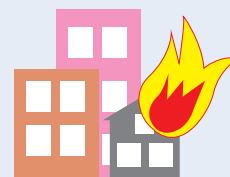
通常、配線や電気器具の電気の通り道は、ゴムなどの絶縁物で覆われています。しかし、絶縁物が傷ついたり古くなったりして破損すると、絶縁不良になり電気が外部に漏れ出します。これが「漏電」で、感電や電気火災などの原因となる危険な状態です。

また、防水性のない電気器具が水をかぶり絶縁状態が悪くなると、漏電が起こります。

漏れ出した電気が人体に流れると感電し、最悪の場合死に至ります。



漏れ出した電気が建物の中を流れて発熱し、火災を引き起こす恐れがあります。

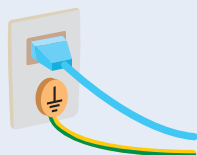


アースを取り付けよう！

電気製品にアースを取り付けておけば、万一漏電した場合にも大地に電気を逃がす道が作られ、感電の危険を少なくします。「水回りや湿気の多いところで使用するもの」や「水を利用するもの」などにはアースを取り付けましょう。

こんな製品にはアースの取り付けを

- 洗濯機 ●冷蔵庫 ●エアコン
- 衣類乾燥機 ●電子レンジ
- 食器洗い機 ●電気温水器
- 電気便座 など



アース線の
取り付け方法は
ここからチェック！



特設サイト「QDH-でんきLIFE-」
アース線取り付け方法



ローデン



災害により浸水した電気製品

地震や台風などにより、電気製品や屋内配線が水に浸かった場合は、漏電などの原因となるので使用しないでください。濡れたところを拭いて乾かしたとしても、内部に水や泥が入り込んでいるかもしれません。これらは火災を引き起こす可能性があり危険です。自分で勝手な判断をせず、メーカーや電気店などに確認して、問題なければ使うようにしてください。

